

瀬戸市 子ども・子育て支援事業計画策定のためのワークショップ

グループA

STEP 1 基本理念案の検討

事務局案	こどもたちの「つながる力」と「生きぬく力」が育つまち
意見	親子にひびくフレーズがよい
	「生きぬく力」が伝わりづらいのではないか
	「チャレンジャー」や「挑戦する力」という表現がよい
	「生きぬく」→しんどそう、「楽しく」を表現したい
	「一人ひとりが輝く」まち
	親子の相互作用が表現できるとよい
委員会意見	親子の「つながる力」と「挑戦する力」が育ち 案① 一人ひとりが輝くまち 案② キラキラがいっぱいのまち

STEP 2 具体的施策の検討

① 安心・安全な子育て環境の整備

意見
モアスクールの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・利用しにくい、各学校での実施がベスト ・安全に子どもが待てる場所があるだけでもよい
障がいがある子の放課後の居場所づくり <ul style="list-style-type: none"> ・身近な場所がよい（学校の近く） ・境界のラインにいる子のため ・保護者の理解も必要 ・グレーゾーンの子の多様な支援
相談できる場所
ソフト面（教育・保育従事者）の意識も大事

② 多世代交流の推進

意見
大学生、青年世代も子どもに関われる仕組み ・ボランティアの募集など？

③ 地域での子育て支援の充実

意見
学校と地域のつながりの創出
子育てサークル ・身近で集まれる場所
子どもたちが自由に集まれる場所 ・モアスクールが代わりになってきている
親は親。子は子でそれぞれつながりをつくれる ・0～18歳の子どもと親が対象 ・おじいちゃん、おばあちゃんも

④ 「親」と「子」がともに成長できる環境づくり

意見
職場の理解 ・企業の取り組み
職業体験の場（例：キッズニア） ・地域の協力も
生活習慣 ・朝手軽にできるメニューの紹介 ・いろいろな人の支援（例：きときと体操）

グループB

STEP 1 基本理念案の検討

事務局案	こどもたちの「つながる力」と「生きぬく力」が育つまち
意見	キーワードは示したほうがよい
	「自分で考える」→「考える力を育む」
	「生きぬく力」は目標や夢に向かっていく力のイメージで
	子ども・親・地域の3つを見ている計画であることを伝える（説明をつける）
委員会意見	「つながる心」と「生きぬく力」が育つまち

STEP 2 具体的施策の検討

【グループ内の基本目標案】
① すこやかな成長
② 親子がともに成長できる・・・
③ 安心・安全
④ 多世代・地域交流

① すこやかな成長

意見
事業所内保育を行政が支援してほしい
同居・別居への助成

② 親子がともに成長できる

意見
マタニティ教室・赤ちゃんサロンなど
もっと親育てを重視すべき
親へのアプローチ
子育てストレスの解消などの点も大切
離乳食教室、幼児教室、赤ちゃん訪問事業

③ 多世代・地域交流

意見
先輩ママが後輩を応援するようなボランティア（有償）
ボランティアの育成もしっかりやる
地域の人々が子どもを見守る仕組みづくり

④ 安心・安全

意見
子どもが逃げられる場所が必要 ・子ども110番の家は機能してないと思う
防犯対策が不十分